



2/21 写真を使って地域の活動をPR ～市民活動支援講座～

▶参加者はいろいろなアングルで橋などを熱心に撮影しました



市民活動支援講座「効果的な活動のPR～写真の撮り方講座～」は万田炭鉱館と万田坑で行われました。市内の各市民活動団体から16人が参加。講師の清田聡さん（清田カメラ代表）から万田炭鉱館でコンパクトデジタルカメラの講座を受けた後、実際に万田坑で写真撮影を行いました。参加者は「写真の例を挙げて説明してもらったので、勉強になりました」「これを機に少しずつ勉強して、効果的な写真を撮り、地域の活動に生かしたい」と、話していました。

2/26 地域の俳句文化を伝承 ～荒尾市俳句協会 くまもと県民文化賞受賞～

▶左から荒尾さん、城さん（同協会顧問）



荒尾市俳句協会がくまもと県民文化賞を受賞し、市役所で山下市長に報告を行いました。50年ほどにわたり、同協会は滔天忌俳句大会や御田植祭協賛俳句大会を開催し、地域に根づいた俳句文化の伝承に尽力しています。また、夏休み少年少女俳句教室を通して、若い世代への普及活動にも力を入れています。同協会会長の荒尾茂子さん（府本上）は「協会を支えてくれた多くの人のおかげで受賞できました。これからも四季を大切にしながら、俳句を詠んでいきたい」と、話していました。

2/28～3/3 学びの成果が花開く ～中央公民館まつり～

▶押し花サークルによる押し花の無料体験コーナー



中央公民館と働く女性の家で中央公民館まつりは開催されました。ダンスや楽器演奏などのステージ発表、お茶会、囲碁や料理バザーなどが行われたほか、館内中に作品が展示されました。4日間で延べ1,250人が訪れ、中央公民館で活動する自主グループ生などの1年間の活動成果を楽しみました。作品を出品した人は「この日のために、気合いを入れて作品づくりを行ってきました。たくさんの人に見てもらえてうれしいです」と、話していました。

3/1 遊園地を全力で駆け抜ける ～クロスカントリーカーニバル～

▶遊園地の中を走り回る日本での唯一のユニークなコースです



クロスカントリーカーニバルをグリーンランド遊園地で開催しました。あいにくの雨天でしたが、県内外から610人が参加し、力走を見せました。肥後銀行女子駅伝部や昨年、県代表として都往路を走った有明高校陸上競技部も招待選手として参加し、大会を盛り上げました。参加者は「天候には恵まれなかったけれど、それを吹き飛ばすくらい楽しく走れました」と、話していました。完走した選手たちはげんざいの振る舞いを受け、雨で冷えた体を温めていました。

寿 100歳 おめでとうございます！

2月23日に武田シズエさん、3月1日に小林フヂ子さん、3月2日に定本政子さんが100歳の誕生日を迎えられました。



武田シズエさん（万田東）

地域の老人会長を務め、90歳まで詩吟やお花を嗜んでいました。最近はデイケアでいろいろな人と話すのを楽しみにしています。長寿の秘けつは「何でも食べること」だそうです。



小林フヂ子さん（新生区）

長生きの秘けつは「趣味の畑いじりで体を動かしてきたこと」だそうです。家族は小林さんのことを「自分のこと」として大切にしています。長寿の秘けつは「くよくよしないことと一日三回の食事」とのことでした。



定本政子さん（万田東）

美容師として働いていた定本さんのモットーは「自信は努力から、過信はうぬぼれから」です。長寿の秘けつは「くよくよしないことと一日三回の食事」とのことでした。

有明優都戦略 強豪チームが優しく指導 3/7・14・21 ～タグラグビー教室～

▶回を重ねるごとに子どもたちのラグビーの腕に磨きがかかります



小学生を対象に3回にわたり、タグラグビー教室を陸上競技場グラウンドで開催しました。九州代表として全国選抜ラグビーフットボール大会に出場する荒尾高校ラグビー部が中心となり、指導。子どもたちは部員たちから優しくアドバイスをもらいながら、ボールを片手に思いつき走り回り、爽やかな汗を流しました。参加者は「タックルがないので、安心して楽しめた」「毎回、楽しくてしょうがない」と、口々に笑顔で話していました。

3/13 地域の宝を後世に伝える ～賀庭寺と古塔群のパフレットなどが完成～

▶賀庭寺保存会の皆さんが作った紙芝居などは学校や図書館へ貸し出されます



賀庭寺保存会は賀庭寺と古塔群を紹介するパンフレット・物語・紙芝居を作成しました。平安時代末頃、平清盛と重盛が賀庭寺を建立したと伝えられています。中世の石造物群は県指定文化財、近世の石造物群と薬師堂に安置する仏像群は市指定文化財に登録されています。同会会長の田中明義さん（樺下）は「素晴らしい資産なので、多くの人に訪れてもらい、愛着を感じてもらえたらうれしいです。これをきっかけに地域おこしができれば」と、話していました。